2026 年 10 月 8 日
浅虫海洋生物学教育研究センター
センター長　　熊野　岳

他教育研究機関の実習等外部利用受け入れについて

【最初に】

・Covid-19 感染症に対する対策について、2023 年 4 月 1 日をもって、東北大学は BCP レベル 0 となりました。以降、浅虫海洋生物学教育研究センター（以後、センター）は、「他教育研究機関の実習等外部利用受け入れについて」*を改訂した本稿に基づき、今後の外部利用受け入れをおこないます。
・外部利用受け入れの条件、利用時の感染防止対策、体調不良者発生時の対応については、今後変更の可能性があります。
・センターでは、全ての外部利用に対し、センター教員１名を受け入れ担当教員として配置しています。外部利用の責任者（以下、外部利用責任者）におかれましては、事前に受け入れ担当教員とご相談の上、感染防止対策にご協力をお願いします。

*令和２年６月５日東北大学本部承認、以後、令和２年７月８日、7 月 28 日、令和 3 年 2 月 8 日、3 月 1 日、3 月 22 日、4 月 3 日、5 月 12 日、5 月 25 日、8 月 20 日、令和 4 年 1 月 20 日、2 月 3 日、4 月 12 日、6 月 12 日、9 月 1 日、12 月 16 日、令和 5 年 4 月 4 日、8 月 22 日、2026 年 10 月 8 日に改訂

１．外部利用受け入れの条件

・外部利用の受け入れ可否については特段の条件を設けません。感染症対策のために設定した宿泊者・実習室利用者の人数制限を撤廃します。

２．利用開始前の感染防止対策

・利用者（宿泊者だけでなく、施設外宿泊しての実習参加者も含む）は、従来通り、**来浅前５日間の健康状態チェック（風邪の症状＋体温）**を実施してください。健康状態チェックで体調不良が明らかな方は**症状が判明次第、速やかにセンター受け入れ教員に連絡**してください。利用の可否を検討します。

３．施設内感染防止対策

・実習室の**利用者数に制限は設けません**。
・実習室使用時には３０分～１時間毎に５分間程度の換気を推奨します。
・顕微鏡や実習器具は、できる限り他学生と共用しないよう準備します。
・センター建物内での**マスク着用については各自の判断に任せます**。
・研究棟/実習棟の入口、宿舎の入口、食堂の入口、宿舎内の１階と２階の洗面所、談話室に消毒液の設置は継続し、利用を推奨します。
・宿泊期間中も、**毎日の健康状態には注意**してください。
・研究棟と宿舎の**共用スリッパの提供を再開**します。室内履きを持参することもおすすめします。

４．体調不良者発生後の対策

・37．5℃以上の発熱が確認され、かつ、咳の症状がある等、感染症の疑いがある**体調不良を訴える利用者**が出た場合には、医療機関での受診を補助します。その後、利用を継続するかどうかは、外部利用責任者および利用者に判断を委ねます。

以上